

2024年

9月

# 南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

第253号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510



## 精神科病院での入院治療とは？

その目的と環境をご紹介します



精神科に限らず、ご自身から進んで「入院したい」と希望し、病院を受診する方はそう多くないと思います。「仕方なく」の場合が大半かもしれません。入院治療とは、その手段が最善の治療効果をもたらすことが期待できる、それ以外の方法ではそれ以上の成果が得られない時に選ばれるものです。

### ◆ 入院治療では…



- ◆ 病状などを明確にして、その解消（→退院）に向けた治療を行います。
- ◆ 入院する直接のきっかけとなった病状以外の「悪いところ」（合併症）が見つかった時には、それも治療計画に加えられます。
- ◆ 回復を早めるためには、患者さまだけでなく、ご家族など周囲の方々のご理解・ご協力が欠かせません。それが患者さま自身の回復への意欲にもつながります。

### ◆ 当院の入院生活の流れ

まず、入院される患者さまは原則として6階（精神一般病棟）に入院していただきます。ここでは病状と生活リズムの安定を最優先に目指します。ある程度安定したと医師が判断した場合は、退院に向けた支援を専門のスタッフが提供します。退院に関しては、患者さま自身は「1日も早く!!」と願うところですが、生活環境などを慎重に検討するなど、時間をかけて進めることもあります。また退院後も、外来受診を通じて様々なサポート体制を用意し、患者さまの病状の安定を支援します。

#### ● 入院

- 十分な睡眠・食事の確保
- 病状に応じた薬の調整
- 刺激の少ない、安全な環境



#### ● 退院への準備

- リハビリ活動（作業療法）
- 生活環境の調整
- 体力の回復
- 対人スキルの向上
- 精神療養病棟（2～4階）への移動



#### ● 退院後

- 病状の見守り  
→ 外来受診、訪問看護など
- 居場所の提供  
→ デイケア、支援センターなど



# 6階(精神一般病棟)の紹介

6階(精神一般病棟)は、精神症状の悪化が急激に訪れ、集中的な治療が必要な方々が入院される病棟です。ここでは、患者さまの急性症状の鎮静を最優先に、心身の安静を目指しています。また、入院中の合併症対応や事故防止にも力を注いでおり、患者さまの不安軽減、安全確保に努めております。

## ◆急性症状とは

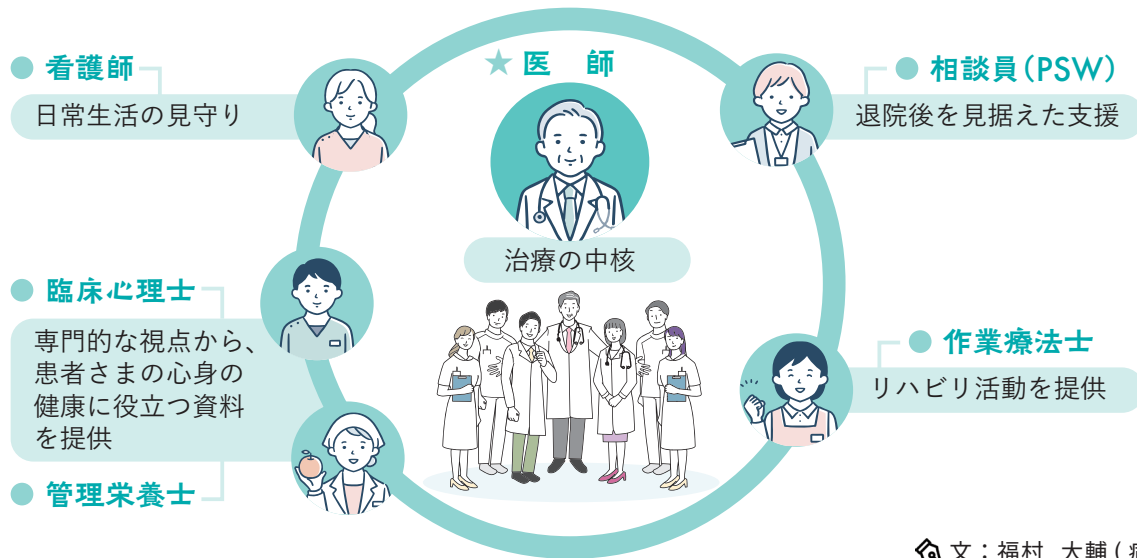
幻覚や妄想といった症状、躁・うつの状態などで気持ちが落ち着かず、周囲の方々に迷惑のかかる行為が明確になった状態を指します。自分でどう対処していいのかわからないとなると、治療の対象となります。

## ◆入院治療のメリット

精神科への入院はマイナスのイメージを抱かれがちですが、良い環境が保たれた病棟での入院治療には、睡眠の確保、不必要な刺激の遮断、安心できる環境、規則正しい生活リズムを得られるというメリットがあります。更に、それまで患者さまの近くで対応されてきたご家族にとっても休養が得られるひと時になります。

## ◆チームアプローチの実践

入院中は、院内の様々な職種のスタッフが患者さまをサポートしています。



文：福村 大輔(病棟看護師)

当院には他にも精神療養病棟(2~4階)、認知症治療病棟(5階)が設置されています。各病棟の紹介は月を改めて掲載していきます。

ふれあい南伊豆ホスピタル  
☎0558-62-1461

2024年9月発行 Vol.253

【監修】山本 善治  
【構成・編集】安室 匠  
【デザイン】F&Y  
【作業協力】支援センターふれあい  
利用者の皆さん  
ふれあい南伊豆ホスピタル  
広報委員会

今年の十五夜は9月17日です